

# 北の大地



札幌市農業支援センター内で実施している市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コースの様子。  
令和4年度のさっぽろ農学校専修コースでは、受講生全員で約30品目の作物を栽培しています。

札幌市経済観光局農政部農政課

札幌市中央区北1条西2丁目市役所7階南 011-211-2406

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/nogyo/index.html>



さっぽろ市  
02-H04-22-996  
R4-2-740

# 農業交流関連施設

…植物工場と農家の蕎麦屋編



写真は、東区丘珠町地区の丘珠空港そばにある株Jファームの太陽光利用型植物工場。株Jファームは、オランダ「Priva社」の高度環境制御システムを導入した1.6haの温室で「フルティカ」種をミニトマトとして栽培。通年栽培・安定供給・雇用の促進を理念に高糖度トマトのシェア拡大に取り組む。右奥のエネルギー棟からバイオマスや天然ガスによりプラントにエネルギーを供給。隣の出荷・管理棟にて選果等を行う。駐車場に併設された直売所「ピリカ札幌」ではミニトマトを中心に販売。コロナ禍以降は、この駐車場で毎年「丘珠あおぞら市」を開催し、市民と農業をつなげる取組みを行う。【ピリカの営業時間】：10:00～15:00 ※水曜・日曜・年末年始はお休み

札幌市の都市計画では、市街化調整区域での販売店設置は規制されています。農政部では、農業振興のため、農産物の地産地消や農業経営の6次産業化を行う直売・加工販売所に限定して規制緩和する認定制度を作り、農業交流関連施設（通称、「農業交流施設」）として開設を支援しています。今回は、植物工場に取組む農業法人や小規模農家の6次産業化について、就農経緯や経営などについて聞きました。



通年栽培で安定供給  
植物工場の直売所  
「ピリカ札幌」  
石島武さん  
(株Jファーム社長)



6/18の「丘珠あおぞら市」  
※今年は全7回開催予定



収穫が始まった頃。安定した環境で1年間栽培するため背丈はさらに伸びていき、ワイヤーを使って斜めに誘引する。↓は定植後まもなくの様子



エクセルスラブ培地の上にロックアップ培地で育苗した苗を置いて栽培



ピリカ札幌。加工品、葉物野菜、お手頃なアウトレットトマトも販売

## ▶スマートアグリ・プラント技術の実証

○Jファームは、JFEエンジニアリングによって設立。立地条件が整った苫小牧工場が先に稼働しましたが、大消費地である札幌でも工場の稼働と同時に本制度を活用して農業交流施設を開設。トマトの栽培や環境制御の技術は施設メーカー等の協力を得て4～5年かけて確立しました。

## ▶環境制御技術で糖度も収量も標準以上！

○通年栽培については収穫の波を作らないことが重要。苗は1年間使って春～夏に交換し、トマトの市場流通量が減ってくる秋に安定的に収穫できるよう調整。道内の高糖度トマトでは高いシェアを占めています。

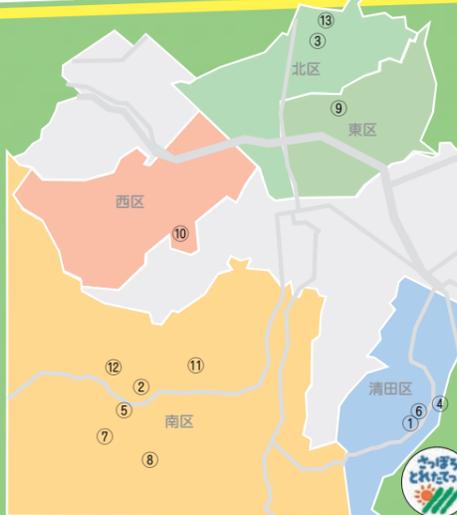
○収穫後は、糖度センサー付選果機で1粒1粒選別し、糖度10以上は、「レッドジュエルプレミアム」として、全体の6～7割は大手スーパー、残りは直売・ネットなどにて販売しています。

## ▶健康機能性に着目！6次化を通して健康提供

○栽培管理を徹底した弊社のミニトマトは機能性成分(GABA)に富み、まさに生のサプリ。おいしいだけでなく健康にも有効ですので、ぜひ習慣化してください。モッツアレラチーズと合わせたカプレーゼがおすすめです。健康機能性に着目した農産加工品の開発にも力を入れており、フードロスの低減にも努めております。



ここにあります！  
「農業交流施設」



No	名称等	所在地	開設者	開設年	内容	電話番号
1	農園の四季	清田区 有明215番1ほか	永光 克義	H18	野菜等の直売 ソバ等の加工販売	011-883-6892
2	そばと旬菜の農園 花見月	南区 篠舞604番1	柿崎 春子	H20	野菜等の直売 ソバの加工販売	011-596-2933
3	農家の直売とれたす。	北区 篠路町北82番16	木田 紀代子	H25	野菜の直売 (地域の野菜含む)	011-771-3536
4	農家の茶屋 自然湯喫倶楽部	清田区 有明187番4ほか	株Jフラワーファーム 大花園	H25	イチゴ、トマト等の直売 イチゴジャム等の加工販売	011-883-6886
5	アルシェフェルム	南区 豊滝420番1ほか	株アルシェ	H25	野菜、果樹類の直売 (小果樹苗木を含む)	090-8900-2621
6	COCCO terrace (コココテラス)	清田区 有明215番1ほか	株永光農園	H26	卵の直売・加工販売 (シフォンケーキ、プリン等)	011-886-7204
7	自然野菜等販売所	南区 豊滝98番2	株豊滝自然農園	H28	野菜の直売	011-511-6161
8	おうちごはん野の	南区 篠舞94番2	池田 奈穂子	H29	野菜等の加工販売 (定食類、米を含む)	090-9436-5256
9	ピリカ札幌	東区 丘珠町847番1ほか	株Jファーム 株アド・ワン・ファーム	H30	トマト、ベリー類の直売	090-1646-8269
10	AGRISCAPE (アグリスケープ)	西区 小別沢175番2ほか	株AGRISCAPE	H31	野菜、卵、肉類の直売・加工販売 (コース料理、スモークチキン等)	011-676-8445
11	one_s fruits farm (ワンスフルーツファーム)	南区 白川1814-108番	古岡浩自	R2	野菜類、果樹の直売・加工販売 (ワフェ、スープ等)	090-6871-6278
12	八剣山 キッチン&マルシェ	南区 砥山150	株八剣山ファーム	R2	野菜類、果樹の直売・加工販売 (軽食、ワイン、ジャム等)	011-596-5778
13	ファームレストラン ベントラベレ	北区 篠路町北243番2	北海道・ 藤井ファーム・ラボ(株)	R3	米・野菜・花の直売・加工販売 (黒にんにく・三升漬、フルーツランチ等)	011-792-0330

→詳細は電話または各ホームページにてご確認ください。(SNSなど含む)  
→(農業者の方へ) 認定の相談は随時受付中です。詳細は農政課まで



花見月。各種ランチセットがコスバ抜群。奥さんが揚げるてんぷらも絶品裏にある畑では奥に八剣山が臨める。芽吹き始めたソバは、9月頃に収穫



農園の四季。息子さんの「永光農園」の平飼い有精卵を使用した名物：厚焼き玉子(数量限定)と店内の様子。露地栽培にこだわったホウレンソウ



食品メーカーを経て就農  
違いのわかる手打ちソバ  
「そばと旬菜の農園  
花見月」  
柿崎徹さん



営業時間11:30～15:00  
通年営業、木曜定休

## ▶食品メーカーの経歴から、農産物を作る側へ

○親が篠舞地区に就農し、当初は果樹栽培に取り組んでいましたが小規模のため、野菜栽培の兼業農家となりました。自分は酒造メーカーに就職し、定年後は食品バイヤーとして働いていました。農地が市街地のそばにあったことや、酒・食品関係の経歴から自分も作る側になりたいと思ったこともあって、農地を活用して手間の少ないソバを作ることに決め、市に相談。本制度を活用して、農業交流施設を開設しました。

## ▶無農薬栽培のソバ。十割は土日の限定提供です

○無農薬栽培ですが、天候や鳥獣害(収穫期のスズメやハト)の影響もあり、原材料すべてを自己産にはできていません。不足分は粉屋と相談し、他者産のそば粉をブレンドしています。新ソバの時期には、ほぼ自己産で提供しており、大変好評いただいています。

## ▶ソバを作りながら営農を継続していく

○定山溪への観光ルートのため、コロナ禍で一時客足は遠のき、夜営業も止めたのですが、その後、テレビに出演したことなどもPRになったのか、利用者が戻ってきたように思います。夫婦2人で切り盛りしていますが、おかげさまで忙しく、今後とも、このペースで農地を維持しながら、経営を続けていけたらと思っています。



こだわり素材  
「農園の四季」  
永光京子さん  
※隣は夫の克義さん



営業時間11:00～15:00  
金・土・日・祝に営業  
1～2月は休業

## ▶農業を使わない、直売を選択

○夫は農家の4代目で、元々は西岡でホウレンソウやリンゴを栽培していました。農業アレルギーになったことや市場出荷価格が安かったことなどから、農業を使わない野菜栽培を中心に、値段を自分で決められる直売に組みはじめましたが、直売に取組む農家が増え、近郊大型直売所の影響もあり、経営が厳しくなってきました。当時、農地を耕作しきれず、農業委員会の指導を契機に手間の少ないソバ栽培を開始。本制度を活用して、農業交流施設を開設しました。

## ▶すべて露地栽培、平飼い鶏糞を使用

○野菜はすべて露地で、ホウレンソウのほかタマネギ・ニンジン・ジャガイモ・ソラマメ・キャベツ・スイカなどを栽培し、肥料は平飼い養鶏場の鶏糞のみ使用。どれもおいしいと評判です。主に八紘学園に出荷していますが、一部は交流施設でも販売していますよ。

## ▶こだわりの食を届ける

○提供メニューはシンプルなものですが、原材料にはこだわっています。開店当初より若い利用者が多く、コロナ禍の影響はありましたが、おいしいものを求める人がいることを感じています。夏は直売コーナーも広げます、ぜひお立ち寄りください。

# 札幌市農業支援センターってご存じですか？

札幌市農業支援センターは、札幌市の地域特性を生かした都市型農業を推進するため、平成7年4月に開設されました。当センターでは、安心・安全な農産物の供給に向け、地産地消を基本とした生産振興から、流通・消費拡大対策のほか、市民の皆様へ食や農業に対する理解を深めてもらうための様々な取り組みを展開しており、その取り組みについて一部ですが紹介します。



## 農業支援センターってどこにあるの？

農業支援センターは、札幌市東区丘珠にある「さとらんど」内に位置しており、農業の生産振興・技術支援のため、施設栽培ほ場や露地栽培ほ場にて各種栽培・試験調査及び一部の展示栽培、小果樹類の栽培を行っています。



## 農業支援センターの概要

- 総面積：8.3ha
- 施設栽培ほ場：0.4ha
- 露地栽培ほ場：2.6ha
- 建物：0.2ha
- 通路・駐車場等：5.2ha



農業支援センター事務所

## 札幌市の農業って有名なの？

札幌市の農業は、市街地を囲むようにそれぞれの地域の特色を活かした農作物が作付されています。例えば手稲区は砂地の土壌のため「サッポロスイカ」や「大浜みやこかぼちゃ」、北区と東区ではタマネギやレタス、清田区では「ポーラスターホウレンソウ」や花き、南区では中山間地域での観光果樹園が盛んなほか、野菜・米・養豚などの多品目少量生産、西区では小別沢のコマツナなどの葉もの野菜が作付けされており、野菜の産出額は高く、道内市町村の中でも有数なまちとなっています。



## 農業支援センターの業務について一部ですが紹介します

### 新規就農相談

農業支援センターでは、就農相談から就農、経営定着の段階まできめ細やかに支援します。

#### ■主な内容

- ①市民農業講座の開催
  - 市民農業講座の開催による就農意欲の向上
  - HPや広報誌を活用した本市最新農業情報の発信
- ②就農準備支援
  - 研修先の農家法人とのマッチングおよび就農準備支援
- ③定着支援
  - 販路拡大に向けたマルシェ等の販売所等の情報提供
  - 就農後も栽培技術や経営管理についての指導や相談を一定期間実施



### 土壌分析・土壌診断業務

農業支援センターでは土壌化学性の分析を行っており、分析値から得られた情報をもとに、土壌診断を実施しています。定期的に土壌診断を受けて適性施肥を継続することで、健全な土壌状態の維持、作物の品質や収量の向上、施肥コスト削減が期待できます。

- 分析項目：pH、EC、CEC（保肥力）、有効態リン酸など
- 土壌診断：「北海道施肥ガイド」などにに基づき実施
- 実施対象：市内の農業者の方
- 料 金：1検体1,500円
- 期 間：通年実施、受付後2～3週間で通知（混雑時は要1か月）
- ※申込方法など詳細はご連絡ください。☎011-787-2220



土壌分析

### さっぽろとれたてっこ制度の展開

さっぽろとれたてっこ制度は、札幌の農業者が生産する農産物を対象とした産地表示制度で、地域ブランドを目指すものです。

さっぽろとれたてっこのマークの表示を行い、札幌の農産物を広く消費者に知っていただき、販売を促進することで、地産地消の拡大につなげます。



さっぽろとれたてっこマークを活用した札幌産農産物のPR

## おわりに

農業支援センターでは札幌市の都市型農業を推進するため、今後とも生産振興に関する直接的な支援事業・業務を実施してまいります。施設見学も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。☎011-787-2220

## ちょっとひと休み～札幌の伝統野菜「札幌黄」について～

### 札幌黄で作ろう！鶏肉とたまねぎのトマト煮



- 【材料】4人分
- 鶏手羽8本
  - 塩(鶏用) 小さじ1と1/2
  - たまねぎ4個
  - トマトピューレ2カップ (又はカットトマト水煮缶)
  - イタリアンパセリ 適量
  - 生クリーム 適量
  - 塩、こしょう 適量
  - パセリ、ナツメグ少々

- 【作り方】
- 1 鶏手羽元は塩をまぶしておく。たまねぎは薄切りにする。
  - 2 厚手のなべにたまねぎの薄切りと鶏手羽元、パセリとナツメグを入れる。トマトピューレとひたひたまで水を入れて大きく混ぜてから中火にかける。沸騰したらあくをすくう。蓋をして弱火で30～40分ほど煮る。
  - 3 蓋をとって煮汁を煮詰める。鶏肉に煮汁が絡まるようになったら皿に盛りつけ生クリームとイタリアンパセリを散らす。

監修 滝本食品株式会社 <料理教室 Salon de Oeufs (サロンドゥーフ)> 主宰 管理栄養士 なかいがおり

# お知らせ (農業者の皆様へ)

## 農福連携に取り組みませんか？

「農福連携」は、主に農業と障がい福祉が連携することにより、共生社会の推進を図る取組です。農業分野にとっては、新たな働き手の確保を通じて、次世代の担い手づくりや耕作放棄地の活用、ひいては産業の維持発展につながる可能性があります。

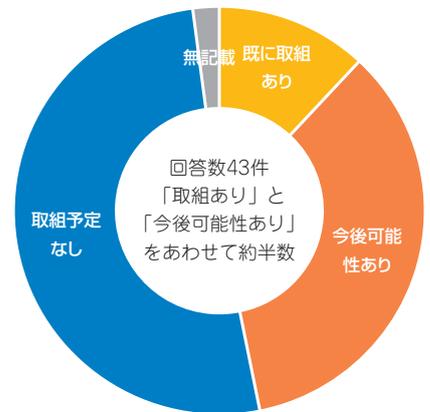
### ■認定農家・認定新規就農者の皆さんにアンケートを行いました

令和4年の3月に、札幌市内の認定農業者・認定新規就農者の皆さんを対象に、農福連携の取組についてうかがうアンケートを行いました。この結果、福祉分野との協働に前向きな方が約半数いらっしゃいました。

### ■農福連携に興味のある方からのご連絡をお待ちしております

アンケートに回答いただいた皆さんの他にも、福祉事業者から就労や農場見学の要望があったときに、対応いただける農場を募集しております。すぐに具体的な取組にならなくても、まずは話を聞いていただける生産者の方でも歓迎です。ご希望の方は以下の担当までご連絡をお願いします。

【農政課企画担当係】 211-2406



農福連携取組について認定農家等アンケート(令和4年3月)

## 農地に関するお知らせ

### 農地利用状況調査実施中

農地の利用状況について、各地区を担当する農地利用最適化推進委員と事務局職員が現地調査を行っています。その際、農地に立ち入ったりお話を伺ったりすることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。  
調査期間：令和4年6月から9月まで



令和3年度の調査の様子

### 農地のことは農業委員会にご相談ください

農地の売買・貸借や転用には農地法の手続が必要です。売買・貸借や転用を検討されている方は、まずは農業委員会事務局(211-3636)へご相談ください。

※許可には要件があります。



農地を農地として、売買・貸借したい

農地法第3条の許可申請または農業経営基盤強化促進法に基づく手続



農地を転用(農地以外のもの)にしたい

農地法第4条または第5条の許可申請(市街化調整区域の場合)

【農業委員会事務局】 211-3636

# お知らせ (農業者の皆様へ)

## サッポロさとらんどからのお知らせ

### さとらんどファーマーズ会員 募集中!!



札幌市農業体験交流施設「さとらんど」では、農業者と市民との交流の場を提供します。

農業者が消費者に直面販売することで、都市と農業を結びつけ、市民に農業に対する理解と関心を高めてもらう場を設け、市内及び近郊の農業者と来園者の相互理解を図ることを目指します。

※札幌市及び近郊の市町村の農業者が対象です。(事前登録が必要です)

さとらんどセンターや交流館で、自分で育てた農産物を対面販売し、消費者の声を聞きながら、農業や農産物の素晴らしさを伝えてみませんか？

■出店料無料 ■都合の良い日に来て販売できます。

夏期営業時間：4月29日(金祝)～9月30日(金) 9:00～18:00  
10月1日(土)～11月3日(木祝) 9:00～17:00

休 園 日：無休(4月29日～11月3日)

住 所：札幌市東区丘珠町584-2

お 問 合 せ：011-787-0223



【サッポロさとらんど】787-0223

## とれたてっこ申し込み

札幌の農産物「さっぽろとれたてっこ」を推進する取組を実施しています。

「さっぽろとれたてっこ」を消費者にPRして地産地消を促すことで、環境にやさしい消費行動につながります。とれたてっこマークのノボリを設置したい方は電話でお申込みいただくか、下記の申込み用紙をFAX(787-2221)で送付願います。不明点があれば農業支援センターまでご連絡ください。



【農業支援センター】787-2220

----- キリトリ線 ✂ -----

### <申込書>FAX用紙

札幌市農業支援センター 札幌市農業振興協議会担当 行 (FAX番号：011-787-2221)

申 込 者：

住 所 等：

連 絡 先：

有効期間：令和5年3月31日まで

表示予定場所：

\_\_\_\_\_で、とれたてっこマークの入ったノボリ\_\_\_\_\_本(ミニノボリ\_\_\_\_\_組)を使用する予定。(例：直売所、軒先販売)

# お知らせ (農業者の皆様へ)

## 農地利用最適化推進委員をご紹介します【第2地区(東区)・第3地区(白石区、厚別区、豊平区、清田区)】

札幌市では、17名の農地利用最適化推進委員が、「農地等の利用の最適化を推進」することを目的として、それぞれの担当エリアで現場活動を行っています。農業者の皆様に広く知っていただくため、前号から引続き推進委員を地区ごとにご紹介します。今回は、第2地区・第3地区を担当する6名です。

### 【主な活動内容】

- ①担い手への農地利用の集約化
- ②遊休農地の発生防止・解消
- ③新規就農・新規参入の促進

農地に関するお悩み・ご相談等がありましたら、お住まいのエリアの農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局(211-3636)にご連絡ください。

### 第2地区

おおさく あつし 担当エリア  
**大作 淳史 委員** 栄町・東雁来町  
東苗穂町

営農年数：20年  
生産作物：タマネギ  
経営面積：約4.6ヘクタール

#### 応募のきっかけ

推進委員活動を通じ、札幌市の農業発展の一助になればと思い、応募しました。

#### 農業者の皆さんへのメッセージ

農地利用最適化推進委員の認知度がまだまだ低いと感じています。

少しでもお役に立てるよう、推進委員活動に取り組みますので、よろしくお願いたします。



きたじま しげる 担当エリア  
**北嶋 茂 委員** 丘珠町

営農年数：24年  
生産作物：タマネギ、コマツナ  
経営面積：約4.5ヘクタール

#### 応募のきっかけ

農業の発展のために活動したいと思い、応募しました。

#### 農業者の皆さんへのメッセージ

農業者の減少が言われて久しいですが、農業者一人ひとりの努力が問題解決の一助になると信じています。子供たちが農業に触れられる健やかな未来のためにも、農業の歴史と一緒に繋いでいきましょう。



つるみ ゆきのり 担当エリア  
**鶴見 幸則 委員** 中沼町

営農年数：43年  
生産作物：タマネギ  
経営面積：約1.8ヘクタール

#### 応募のきっかけ

何らかの形で農業の発展に寄与したいと思っていたところ、農協からの推薦もあり、応募しました。

#### 農業者の皆さんへのメッセージ

皆様の声に耳を傾けながら、推進委員活動を進めて参ります。畑に伺って、お話を聞かせていただくこともあるかと思いますが、よろしくお願いたします。



### 第3地区

いな の べ つとむ 担当エリア  
**稲野邊 努 委員** 清田区(真栄・有明・清田)

営農年数：10年  
生産作物：ミニトマト  
経営面積：50mハウス4棟

#### 応募のきっかけ

就農する際に農地を確保することに大変苦労し、多くの方々の協力により農地を見つけることができました。今後は私が力になりたいと思い、応募しました。

#### 農業者の皆さんへのメッセージ

遊休農地が多く、積極的に担い手への集約や新規参入の促進に取り組んでいきたいと思っております。お気軽にご相談ください。



にしやま くにひろ 担当エリア  
**西山 邦宏 委員** 白石区(東米里・北郷・川下・川北)

営農年数：7年  
生産作物：ベリー類、豆類、さつまいも等  
経営面積：約2.5ヘクタール

#### 応募のきっかけ

様々な人が土に触れる環境を創りたいと思い、応募しました。

#### 農業者の皆さんへのメッセージ

人手不足や高齢化等の問題解決に向けて、少しでも前進できるよう皆様に寄り添い、活動していきます。

農業を取り入れた多世代交流の場づくりをしています。皆様が笑顔になれる場所を一緒に創っていきましょう。



まつした ひであき 担当エリア  
**松下 秀彰 委員** 厚別区(厚別西・厚別町山本・厚別町下野幌)  
豊平区(西岡)

#### 応募のきっかけ

現在は陶芸家として活動する中で山間部の農家の方と関わる機会があり、農地の荒廃を目にして、遊休農地の発生防止・解消に貢献したいと思い、応募しました。

#### 農業者の皆さんへのメッセージ

高齢化、後継者不足等により農地を手離したいという声を聞くことがある一方で、就農希望の話も聞かれます。前職での中小企業支援の経験を生かし、双方のマッチングに努めます。

